

# 茶室

自然と  
建物が  
融合する

## 中村昌生と 庭屋一如

なかむらまさおと  
ていおくいちによ

令和元年 10月26日(土)~12月8日(日)

\*会期中に一部展示替えを行う場合があります

開館時間/午前9時~午後5時(入館は4時30分まで)

休館日/月曜日(11月4日は開館)

入館料/一般600円・学生500円・18歳以下無料(大学生を除く)

団体(20名様以上)2割引

「令和元年度 第55回京都非公開文化財特別公開」期間(11月1日(金)~11月10日(日))に限り、特別拝観券(800円)を販売します

閑雲軒イメージイラスト  
畔森多恵子

### 八幡市立松花堂美術館

〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花43-1 TEL.075-981-0010  
FAX.075-981-0009 <http://www.yawata-bunka.jp>

主催 八幡市立松花堂庭園・美術館(公益財団法人 やわた市民文化事業団)

協力 吉江 勝郎(学校法人 富嶽学園 日本建築専門学校校長・一般財団法人 京都伝統建築技術協会常務理事)

後援 文化庁、京都府、京都府教育委員会、公益社団法人 京都府観光連盟、一般社団法人 日本建築学会、公益社団法人 日本建築家協会、茶の湯文化学会、一般社団法人 八幡市観光協会、八幡市文化協会、歴史街道推進協議会、京都新聞、朝日新聞京都総局、読売新聞京都総局、毎日新聞京都支局、産経新聞社京都総局、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京阪ホールディングス株式会社、京阪電気鉄道株式会社、京阪バス株式会社

# 茶室

松花堂美術館  
令和元年  
特別展

自然と  
建物が  
融合する

## 中村昌生と庭屋一如

なかむらまさおと  
「ていおいちによ」

令和元年10月26日(土)~12月8日(日)

松花堂庭園には、松花堂昭乗(1584~1639)が隠居所として男山山中に建てた草庵「松花堂」が移築されています。男山は、石清水八幡宮を擁し、古来、自然と信仰が融合する場所です。昭乗は江戸時代初期に活躍した石清水八幡宮の社僧ですが、彼が住職を務めた瀧本坊には「閑雲軒」という茶室がありました。

日本の伝統建築は、自然との融和を根底に人と自然の関係を築くものです。茶室・数寄屋研究の第一人者・中村昌生(1927~2018)は「庭屋一如」(庭と建物が融合し自然と調和する境地。中村による造語)の考えに基づく茶室、数寄屋建築を数多く手がけました。

このたびの展覧会では、「庭屋一如」の考え、茶室・数寄屋建築に込められた心と技をご紹介します。松花堂庭園内の2棟の茶室(松隠、梅隠)は中村が1970年に手がけたものです。「松隠」内には瀧本坊にあった茶室・閑雲軒が再現されています。中村みずから「松花堂の仕事は私がモノづくりに向かう大きなきっかけ」となったと語る代表作のひとつです。図面や関係資料から、松花堂庭園に息づく「庭屋一如」の考えとその源流に思いを馳せたいと思います。そして、あわせて日本各地にある中村作品の一部を模型と写真パネルで紹介いたします。

自然との融和を基調とした建物への関心が高まる昨今、そこに感じられる好ましさ、心地よさは、たとえ言葉に言い表わせなくとも、多くの人が共有する感覚なのでしょう。茶室もまた、心地よさを追求した空間です。そして、その心地よさを実現するのは、人から人へと受け継がれる技です。「庭屋一如」の考えを通して、日本の伝統建築を身近に感じて頂きたいと思います。

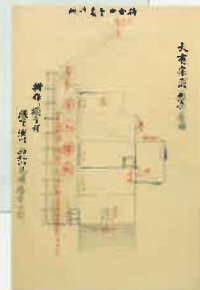
愛知県生まれ。茶室・数寄屋建築研究の第一人者。茶の湯空間を生み出した茶匠や工匠たちの創造の秘密への探究を通して「日本建築における不易の道理」を追究。桂離宮整備懇談会委員、京都迎賓館伝統的技術活用検討委員会委員長など歴任、京都伝統建築技術協会、日本建築専門学校、伝統を未来につなげる会の設立に尽力。京都工芸繊維大学名誉教授、福井工業大学名誉教授、松花堂庭園・美術館名誉館長。

〔受賞歴〕  
日本建築学会賞(論文「茶室の研究」)  
日本芸術院賞(白鳥公園茶室 清羽亭 設計)  
圓山記念文化賞  
全国日本学士会アカデミア賞 など

〔作品例〕  
もみじ公園清風荘茶室宝紅庵(山形市、昭和55年)  
大濠公園日本庭園茶会館(福岡市、昭和59年)  
新宿御苑染羽亭(東京都、昭和62年)  
山寺芭蕉記念館(山形市、平成元年)  
花博日本庭園茶室むらさき亭(大阪市、平成2年)  
スウェーデン国立民族博物館茶室 瑞暉亭(ストックホルム、平成2年)  
酒田市出羽遊心館(酒田市、平成6年)  
兼六園時雨亭(金沢市、平成12年)  
ギメ美術館茶室(パリ、平成13年)  
越前古窯博物館茶室(越前町、平成29年) など多数



なかむら まさお  
中村昌生  
(1927~2018)



1 「茶室おこし絵図集」(墨水書房)所収  
「八幡滝本坊茶室」一般財団法人 京都伝統建築技術協会蔵  
2 白鳥公園茶室清羽亭(名古屋)模型 日本建築専門学校 伝統建築研究所蔵  
3 花フェスタ記念公園茶室(刈見)模型 日本建築専門学校 伝統建築研究所蔵  
4 「八幡山瀧本坊珍藏録」所収「大有宗数寄屋圖」 松花堂美術館蔵

### <講演会>

(1)茶室・数寄屋建築の技と伝承  
日時:令和元年11月3日(日・祝) 午後1時30分より  
講師:日向 進(京都工芸繊維大学名誉教授、当館学芸顧問)

(2)茶室の位置づけ  
日時:令和元年11月9日(土) 午後1時30分より  
講師:池田 俊彦(イケダ数寄屋研究所所長)  
\*講演会後、庭園内「松隠」「梅隠」の内部見学を予定

(3)中村昌生と庭屋一如  
日時:令和元年11月10日(日) 午後1時30分より  
講師:吉江 勝郎(日本建築専門学校校長)

会場:各回 松花堂美術館 講習室  
料金:各回 無料  
(展覧会および庭園見学には別途料金が必要です)  
定員:各回 80人(要申込)  
申込受付開始日:各回10月1日(火)  
申込方法:各回 お電話またはFAX、ご来館にてお申し込みください

### <呈茶席~庭屋一如の楽しみ~>

日時:令和元年11月29日(金) 午後2時より  
場所:松隠 広間(庭園内)  
席主:影山 純夫(神戸大学名誉教授、当館学芸顧問)  
料金:800円 定員:20人(要申込)  
申込受付開始日:10月1日(火)  
申込方法:お電話またはFAX、ご来館にてお申し込みください

### <学芸員による展示解説>

開催日:10月27日(日)、11月17日(日)  
11月23日(土・祝)、12月1日(日)  
時間:各日午後1時30分より(約40分)  
集合場所:展示室 \*申込不要(要観覧料)

### 〔松花堂庭園(国指定史跡・名勝)〕

平成30年6月18日に発生した大阪北部地震の影響により、松花堂庭園は外園のみ開園しております。詳しくは電話にてお問い合わせください。  
〔開園〕午前9時~午後5時(入園は4時30分まで)  
〔休園〕毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)  
〔料金〕一般100円 学生80円 こども50円  
●ボランティアガイドによる庭園案内/無料(要予約)



### 〔京都 吉兆 松花堂店〕

「吉兆」の創業者・湯木貞一が、松花堂昭乗の「四つ切塗箱」をヒントに生み出した「松花堂弁当」。地元野菜、季節の鮮魚で彩られた「松花堂弁当」を、昭乗ゆかりの地で是非ご賞味下さい。  
※ご予約は吉兆松花堂店(075-971-3311)まで



交通のご案内 ●京都駅から近鉄電車「丹波橋」駅で京阪電車に乗換え(大阪方面)  
●京阪電車「八幡市(石清水八幡宮※)」駅または「椿葉」駅から京阪バス「大芝・松花堂前」下車すぐ  
●JR学研都市線「松井山手」駅から京阪バス「大芝・松花堂前」下車すぐ  
※2019年10月1日からの駅名・通称です

### 八幡市立松花堂美術館

〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花43-1  
TEL 075-981-0010  
FAX 075-981-0009  
http://www.yawata-bunka.jp/syokado/

